



みんながみんなでみんなを！

バンブーフESTAから体育祭へ

校長 佐藤 忍



「それぞれがそれぞれの一瞬を」と全校集会で話をしましたが、本当にそれぞれの一瞬一瞬が輝いているところを見ることができた「古中バンブーフESTA」でした。

1年生の各クラスの発表は、「来た人への配慮」にたくさん出会うことができました。目を引く掲示物はもちろん、来室した人たちへの誘導やプレゼンテーション、それぞれの説明がしっかりしていて、人を惹きつける工夫や、飽きさせない工夫が随所ありました。AIやICTに促される時代ですが、学校は人と人との関係を学ぶ場所でもあります。もめたり、一緒に考えたり、喜び合ったり、悲しみあったり。今回の1年生のテーマ「福祉」はまさに人を考えなければならない取組。そのような中で、1年生がこれから、「『人』を大切にしてくれそうだな！」と期待させる発表でした。

2年生は、企業とのコラボレーションに現実味があり、おそろかにできない真剣さが伝わってきました。まだまだ中間発表で、これからだと思いますが、新しい考えやアイデアを出して、それが認められるのは仕事のおもしろさの醍醐味。今の社会はどれだけ新しいアイデアを出していけるか、それをさらに周りの力で否定せず、発展させていけるかが大事なポイントとなります。こちらの取り組みの準備段階の時に授業を見せてもらいましたが、普段の授業でも、そんな話し合いや対話を積み重ねてくれたから、それぞれが、それぞれのアイデアを大切にできたし、大切にしてもらえたのではないかと思います。班やグループの人数分のプラスを積み重ねて、よりいいものにしていく話し合いを続け、ぜひ素晴らしい商品や企画を出してください！

3年生は、まさに“This is Me!!”それぞれが、それぞれの輝きを発揮していました。歌を交えた演技、英語での歌唱、ダンスの華やかさ、背景の電子化、少人数でも気持ちが入った迫力のある歌、ピンポイントで輝く道具類、それぞれの個性的な役柄にあった衣装や準備、舞台を含め、広く、大きく演技するために大変だったであろう照明のタイミング。何より私が感心していたのは、音響。曲のタイミングや効果音の出だしはもちろんですが、その都度その都度の状況に合わせて、こまめにマイクのセッティングに動き回っていたこと。劇はセリフが命。役者が覚えていなければ話になりませんが、伝わらなければ劇として成立しません。その声をなんとか拾って届けようとしている姿に、この劇をいいものにしようとする、全員の気持ちが出ていた！と思っていました。

3年生の劇は聞くと、前日まで時間を削り、その動きも次々に変更になっていたようです。その中で、その変化に対応し、順応し、素晴らしい劇にしたことは、社会に出てから生きていくために大いなる力となります。基本的なことや決まったことは大事にしなければなりません、それだけでは対応できません。3年生の劇を見て、あと半年で義務教育を終え、卒業し、社会人となるうえで、しっかり社会人としての力がついてきているなぁと感じました。

次は体育祭です。それぞれの力はその時だけのものではありません。古中バンブーフESTA、体育祭、日常の学校生活につながっています。どこで活かしてくるか！？

そして、1年生のみなさん、古中の体育祭はすごいぞ～。

まず、「みんながみんなを応援する！」「みんながみんな真剣に競技する！」「みんながみんな一生懸命するから楽しめる！」そんな体育祭です。

体育委員会スローガンは「空前絶後・体育祭～爆発の呼吸奥義～」。昨日配付したプログラムにも見どころがあります。縦割りにより学校全体として結束の固まった体育祭、ぜひお楽しみに、ご来校ください！



◆感動のバンブーフESTA!◆

9/26（金）に行われたバンブーフESTAは大きな感動を呼ぶ素晴らしい行事となりました。

当日の発表はほんの一瞬の出来事だったかもしれませんが、発表のあの瞬間に全てを出し切れるように、学年やクラブで毎日懸命に頑張っていた皆さんの姿は何よりも美しかった！

そして3年生の劇は圧巻でしたね！発表の迫力もさることながら、すべての人が「自分らしくある」ことの尊さを感じることができたのではないのでしょうか。

古中生の皆さん、素晴らしい発表をありがとう！

【文化委員長のコメント】

今年のバンブーフESTAのテーマは「Bambloom 美しいこの一瞬を」でした。

1年生の発表では、劇や体験を通して福祉について学ぶことができました。2年生の発表では、製品やイベントがどれも工夫されていて驚きました。3年生の発表では、一人ひとりの個性について考えさせられ、ダンスや合唱も統一感があって素晴らしかったです。

全員の協力で「美しい一瞬」をつくり上げることができました。

これからの学校生活も頑張りましょう！

（3-3 白鹿智己さん）

【先生からのコメント】

「Bambloom」～美しいこの一瞬を～ この目標を学校で掲げ生徒たちはバンブーフESTAまで取り組んで来ました。本番当日では、発表で舞台に立つ瞬間、クラス一丸で発表を成功させた瞬間、全員で歌う瞬間、それを見ている他学年の生徒のまなざし、どれも美しい一瞬で、古江台中学校の皆が輝いていました。生徒の皆さん、感動をありがとう。

（バンブーフESTA担当 櫛田佐助先生）



各種表彰

【男子ソフトテニス部】

吹田新人戦

個人戦 第3位 ペア

【女子ソフトテニス部】

吹田新人戦

個人戦 第3位 ペア

団体戦 優勝

【次のページは体育祭特集！！】

◆さあ、つぎは体育祭だ！！◆

体育祭目前！ここまで頑張ってくれた各団の団長さんからのメッセージです！！



赤団 3-1・2-4・1-4



【体育祭に向けての意気込み】

赤団は大雨の中も台風の中も嵐の中もたくさん練習してきました。熱い気持ちを胸に、全力で優勝へと向かいます。笑顔と感動あふれる最高の体育祭にしましょう！

【応援パフォーマンスで注目してほしいところ】

最初はみんな声がうまくでませんでしたが、団長、副団長が協力して引っ張っていく中で徐々に全員が一丸となって声もできるようになりました。普段見せない姿を楽しみにしてください。赤団一丸となって最高のパフォーマンスをお見せします。
(団長 3-1)

青団 3-4・2-3・1-3



【体育祭に向けての意気込み】

練習でやってきたことを本番でも活かし、全力で楽しみつつ、青団一丸となって優勝します！！

【応援パフォーマンスで注目してほしいところ】

最初のアイダ凱旋行進曲はとっても迫力があり、うちわを使うところです。

最後の昇竜拳にも注目してください！

(団長 3-4)

黄団 3-2・2-2・1-1



【体育祭に向けての意気込み】

黄団団長の東野です！黄団はみんなで楽しみながら全力で体育祭に挑みます！これまでの練習を通して感じたのは、一人一人が目標を持つことの大切さだと僕は思っています。目標が成り立つ瞬間はみんなの努力や思いが重なってこそ成り立つものだと感じています。例えばバンプーの時、僕は「自分の与えられた役割は全力で取り組もう」という気持ちで取り組んでいました。今回の体育祭では、団長という立場で目標を持ち、達成感をみんなで味わうことが一番の目標です。もちろん勝つことも大切ですが、それ以上に、みんなで力を合わせて「頑張りぬいた」「最後までやり切った」という『達成感』こそが本当の勝利だと思っています。それを成し遂げるために団長や副団長、パフォーマンスのメンバーが協力し合って、最後に団全員が「黄団でよかった」と心から思えるような体育祭にしたいです。団長として、下の代に受け継がれるような最高の体育祭が残せるよう全力で引っ張ります！！

【応援パフォーマンス】

今回の応援パフォーマンスは、初めての試みで3回目の団練終わりにやっと「1つこれやろう」と確定したぐらい。「どうやったらみんなが声を出してくれるのか」「どうやったらみんなで盛り上げられるのか」など、たくさんの葛藤やぶつかり合いがおこりました。それでも、本番では、そうした努力の積み重ねをすべて出し切りたいです。元気と声、そして団結力で会場を巻き込み、黄団らしいパフォーマンスを届けます。見ている人たちに「黄団、最高！」とおもってもらえるよう、全力で挑みます！
(団長 3-2)

緑団 3-3・2-1・1-2



【体育祭に向けての意気込み】

緑団では世間で言う『青春』ってやつをします。全員で全力で楽しみ、優勝を貰います！

【団で頑張っていること】

応援練習では、緑団全員で声を合わせ一体感を出しました。応援はとにかく楽しみました。競技練習では、学年関係なくコツを教えあい、課題点解決に向け取り組みました。

【パフォーマンスで注目してほしいところ】

大本命の『緑団わっしょい』です！男子も女子も恥じらいを捨て、全力でわっしょいします。最初の団長同士のやり取りにも注目です。
(団長 3-3)